

雑念と理性のお寺

・・・・・・そこには総勢14名の頭をツルピカにした僧侶たちが正座して座っていた。

目の前には少し黄ばんだノート。横に便箋が置いてある。

写経をするためだ。書き写すお経の書いた本も手前に置いてある。

しっかりと先っぽを尖らせた鉛筆も置いてある。

原っぱの中央に位置するお寺の中である。

彼らは今から瞑想に入る。

しかし彼らは雑念の多い人生を歩んできた。

だから今後滝修行をしなくてはならない。

震える一人の僧侶。右手首が痙攣している。

それでもそっと鉛筆を手に取りノートに向かい合った。

・・・・・・・・・・彼らはなんとか理性を保てた一員なのである。

体験版は以上になります。ご読了ありがとうございました。